

新人は3度目です／最高のプレー、プロの責務



スピーチするイチローさん  
＝27日、ニューヨーク州ク  
ーバースタウン

イチローさんスピーチ内容 【一面に本記】

今日もう二度と味わうこ  
とのないであろうと思っ  
た感覚を味わっていま  
す。新人になるのは3度目  
です。1度目は1992年  
に高校からオリックスに入  
団した時。2度目は200  
1年にマリナーズと27歳で  
契約した時にまた新人にな  
りました。ここにおられる  
方々を拝見して、自分がま  
た新人になったと実感して  
います。素晴らしいチーム  
に温かく加えてもらい感謝  
しています。殿堂の価値に  
寄与できればと思います  
が、自分も51歳なので、い  
じりはほどほどにしてくだ  
さい。

2度目まではプロとして  
最高のレベルでプレーした  
いという目標が明確だった  
ので感情をコントロールす  
るのほそこまで難しくはな  
かった。今回は全く違いま  
す。子どもの頃、野球を続  
けることが、ここにあるこ  
とすら知らなかった聖地に  
導いてくれるとは想像もで  
きなかったのだ。  
人はよく私のことを記録  
で評価します。野球はただ  
単に打つ、投げる、走るだ  
けでなく、人生や世界につ  
いての考え方を形成する力

(ゲッティ＝共同)

今日それを書き直すことが  
できるなら、夢ではなく、  
目標と書きます。夢は必ず  
しも現実的ではありません  
。目標はどうたどり着け  
るか深く考えれば、かな  
えることができるもので  
す。若い選手には夢を大き  
く持つてほしいけれど、同  
時に夢と目標の違いも理解  
してほしい。

日本でもプレーしていた  
時、最初にフルシーズンを  
戦った年に首位打者とな  
り、それから毎年タイトル  
を取りました。外から見れ  
ば、全てが順調で何も心配  
することはないと思われ  
ていたかもしれません。でも  
内側ではどうして結果が出  
ていないのか分からず、苦  
しんでいました。答えを見  
つけようとしても見つから  
ない内なる苦悩の中、歴史  
的なことが起きました。野  
茂英雄さんが自分が生きて  
いる中で最初のメジャーリ  
ーガーになったのです。彼  
の成功に自分を含めた多く  
の人がインスパイア(刺激)  
されました。野茂さん、あ  
りがとうございました。  
自分を一番支えてくれた  
のは妻弓子です。彼女のエ  
ナジィは全て自分を支え、  
励ますことに注がれていま  
した。自分は一貫した選手  
であろうとしてきました  
が、彼女は自分にとって、  
最も一貫したチームメート  
です。  
米国で殿堂入りすること  
は私の目標ではありません  
でした。でも今日、この場  
にいることは素晴らしい夢  
のようです。ありがとうございます。

▲ 7月29日 福島民友新聞掲載 ※関連記事を別シートで配信しています

イチローさんは、「プロの責務」をどのように考えていますか？また、それはどのようなことからですか？

イチローさんは、「夢」と「目標」の違いをどのように述べていますか？

イチローさんのスピーチ内容で、印象に残る文言はなんですか？また、それはなぜか。まとめてみましょう！